
静岡県地域福祉支援計画の進捗評価結果 (概要)

第4期静岡県地域福祉支援計画（現行計画）の概要

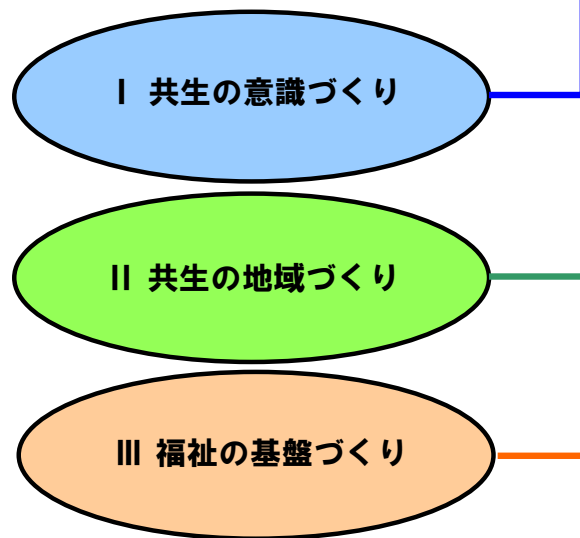
<基本理念>

個性や多様性を尊重し認め合い、一人ひとりが役割や生きがいを持って、地域を共に創る共生の“ふじのくに”づくり

<基本目標：目指すべき地域社会の将来像>

一人ひとりが主体的に地域づくりに参画し、人と人、人と社会がつながる孤立しない地域共生社会

<施策の方向> (大柱)



<施策の方向>

- ・個性や多様性を尊重し、地域で共に支え合い、地域を共に創る「地域共生」の意識の醸成を図る。
- ・学校、家庭、地域等が連携して、地域で暮らす多様な人との触れ合いや交流などの体験を通じ、幼少期からの福祉教育を推進する。

- ・障害の有無や年齢などによって、「支える側」と「支えられる側」に固定せず、誰もが役割や生きがいを持って、地域づくりに参加し、地域全体で人と人が支え合う仕組みを創る。
- ・様々な生活課題の解決のため、福祉分野を超えて多分野との連携や協働による地域づくりを推進する。

- ・包括的な相談支援や参加支援、地域づくりに向けた支援などの一体的な取組を推進し、市町の包括的支援体制の構築を図る。
- ・福祉・介護人材の確保と福祉サービスの適切な利用の推進を図る。

<計画期間>

令和3年度から令和8年度までの6年間
※令和5年度に中間見直し

<数値目標>

成果指標：3指標 活動指標：52指標

■ 評価結果の概要

- ◎ 計画に掲げる55指標のうち、R7.10月時点で実績値が判明した51指標について進捗評価を行った。
- ◎ 活動指標の全体の62%が計画策定時から進捗している一方で、「共生の地域づくり」の活動指標において、基準値以下・目標未到達の割合が高くなっている。
- ◎ 進捗が遅れている指標について、今後より一層の取組の推進を図るとともに、総合計画等他の計画の検討も踏まえ、現状の把握・原因等を分析し、指標の見直しも含め、次期計画の策定に反映し、地域社会の将来像の実現に向けた取組を進めていく。

【凡例】 ◎：目標値以上 ○：進捗 ▲：基準値以下 ×：目標未到達 —：数値公表前等

成果指標（3指標）

大柱	指標名	基準値 (策定時)	現状値	評価	目標値
I	困っている人を見かけた際に声をかけたことがある県民の割合	31.3% (R3)	39.3% (R6)	○	40.0% (R7)
II	県民の地域活動への参加状況	83.5% (R2)	83.4% (R6)	▲	87%以上 (毎年度) (R7)
III	包括的な支援体制を整備した市町数	14市町 (R6)	20市町 (R7)	○	35市町 (R10)

活動指標（計52指標）

大柱	◎	○	▲	×	—	計
I 共生の意識づくり	3	4	4	0	0	11
II 共生の地域づくり	4	4	4	3	0	15
III 福祉の基盤づくり	7	8	5	2	4	26
計	14 (29%)	16 (33%)	13 (27%)	5 (10%)	4	52

62%

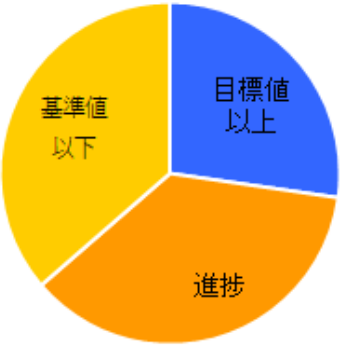
【凡例】 ◎：目標値以上 ○：進捗 ▲：基準値以下 ×：目標未到達 -：数値公表前等

施策の方向別（活動指標）

Ⅰ 共生の意識づくり		
評価	指標数	割合
◎	3	27%
○	4	36%
▲	4	36%
×	0	0%
-	0	
合計	11	

} 63%

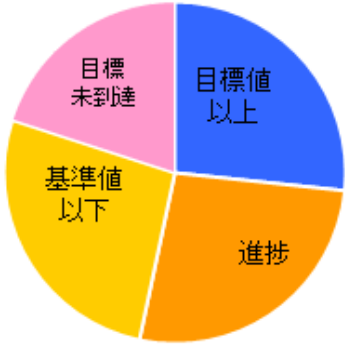
Ⅰ 共生の意識づくり



Ⅱ 共生の地域づくり		
評価	指標数	割合
◎	4	27%
○	4	27%
▲	4	27%
×	3	20%
-	0	
合計	15	

} 54%

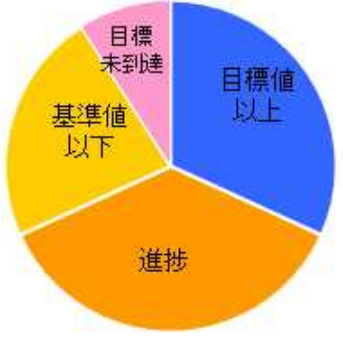
Ⅱ 共生の地域づくり



Ⅲ 福祉の基盤づくり		
評価	指標数	割合
◎	7	32%
○	8	36%
▲	5	23%
×	2	9%
-	4	
合計	26	

} 68%

Ⅲ 福祉の基盤づくり



区分	進捗状況	内容
◎	目標値以上	「現状値」が「目標値」以上のもの
○	進捗	「現状値」が「基準値」を上回ったもの
▲	基準値以下	「現状値」が「基準値」以下のもの
×	目標未到達	目標年度が到来し、「目標値」に達していないもの
—	数値公表前等	統計値等発表前、当該年度に調査なし等